

鳥取県の政策に関する「県民意識調査」に ご協力をお願いします

県では、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取り組みを進めています。

これからも、県民の皆さんが住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう、現在の状況などについて、あなたの率直なご意見をお伺いし、今後の県政に活かしていきたいと思えます。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

令和3年7月30日

- この調査は鳥取県が行う「鳥取県の政策に関する県民意識調査」（今年で6回目）です。
- この調査は、本調査票にご記入のうえ郵送いただくか、パソコンやスマートフォンでインターネットを通じて回答いただくことも可能です。

インターネットによる回答方法については、調査票の裏面をご覧ください。

- 調査をお願いする方の選定にあたりましては、県内在住の18歳以上の方から3,000人を各市町村の住民基本台帳より無作為に抽出させていただきました。
- 調査票は無記名になっていますので、お名前を記入していただく必要はありません。
- ご回答いただいた内容は、無記名のまま統計的に集計・分析するため、個人が特定されたり、個々の回答内容が公表されることはありません。
- 調査票は、封筒のあて名の方ご本人がお答えください。ただし、ご本人の回答が難しい場合は、ご家族の方など代わりの方（18歳以上）がお答えいただいても構いません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信封筒に入れて **令和3年8月19日（木）まで** に郵便ポストに投函（切手不要）してください。
- この調査についてご不明な点がありましたら、問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

鳥取県地域づくり推進部県民参画協働課
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
電話:0857-26-7848
ファクシミリ:0857-26-8112
電子メール:kenminsankaku@pref.tottori.lg.jp



I 鳥取県の住みやすさについて

【問1】あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。該当する数字に○をしてください。
(○は1つ)

- 1 感じている 2 少し感じている 3 普通 (どちらともいえない)
4 あまり感じていない 5 感じていない

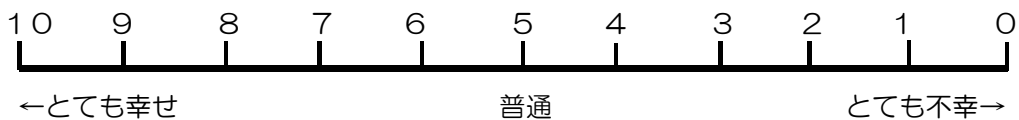
【問2】あなたが、今暮らしている地域の住みやすさについて、該当する数字に○をしてください。
(○は1つ)

- 1 とても住みやすい 2 どちらかというに住みやすい 3 普通 (どちらともいえない)
4 どちらかというに住みにくい 5 住みにくい

【問3】鳥取県に暮らしていて、あなたは次の設問についてどう思われますか。1～10の設問ごとに表中の「選択」の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択		
	そう 思う	どちらとも 言えない	そう 思わない
1 豊かな自然環境に恵まれている			
2 住んでいる住民（県民）が親切である			
3 地域での人と人とのつながりがある			
4 生活するにあたり、公共交通機関が整っている			
5 地域の防災組織が整っている			
6 地域の治安が良いと感じている			
7 子育て支援が充実している			
8 医療や介護の体制が充実している			
9 子どもの教育環境が充実している			
10 ストレスなく日常生活を送ることができている			

【問4】鳥取県に暮らしていて、あなたは今どの程度「幸せ」ですか。
10を「とても幸せ」、5を「普通」、0を「とても不幸」として、次の数字1つに○をしてください。

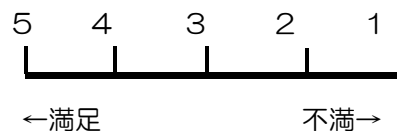
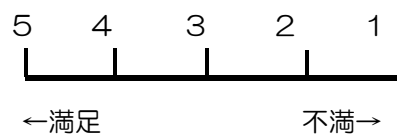
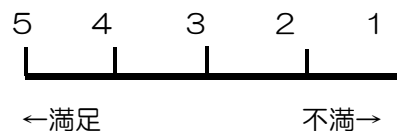
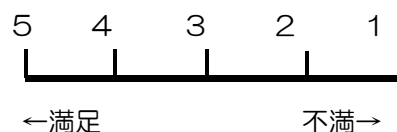
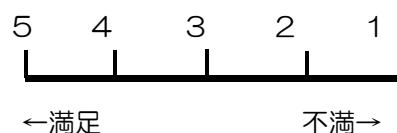
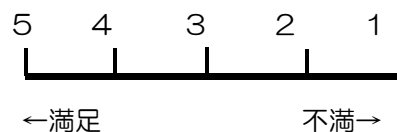
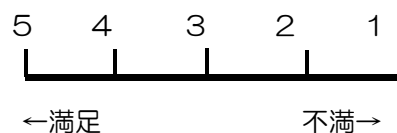
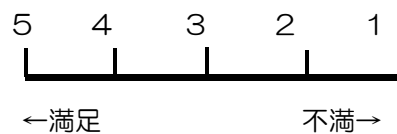
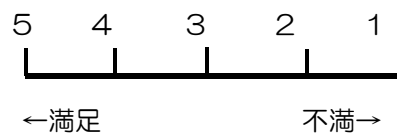


【問5】あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。該当する数字に○をしてください。
(○はいくつでも)

- 1 家計の状況 2 就業の状況 3 自身の健康の状況 4 自由な時間 (充実した余暇)
5 仕事 (学校) の充実度 6 精神的なゆとり 7 趣味などのいきがい 8 家族関係
9 友人関係 10 職場 (学校) の人間関係 11 地域コミュニティとの関係
12 自然環境 (住みやすさ) 13 その他 ()

2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

- ① **結婚・出産・子育ての希望を叶える取組**
 出会いの機会の充実、不妊治療や子育て世帯の経済的負担の軽減、保育所等の体制整備や放課後児童クラブ等の充実など
- ② **地域で子育て世代を支える取組**
 医療ケア児の受け入れ支援の充実、子どもの貧困対策の推進、不登校等の相談支援、男性の家事・育児参加の促進など
- ③ **未来を拓く人づくりの取組**
 グローバル化に対応した英語教育の推進、主体的に学習する児童生徒の育成、プログラミング的思考(注4)や情報活用能力の育成など
- ④ **地域を支える人財育成の取組**
 郷土愛を育むふるさとキャリア教育、地域の自然、歴史、文化等から学ぶ体験活動など
- ⑤ **女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組**
 人権教育の推進、NPO(注5)や地域活動の推進、あいサポート運動(注6)の普及、障がい者の職場定着支援、外国人材の就労支援など
- ⑥ **絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組**
 地域運営組織づくりの支援、買い物支援や見守り活動等生活サービスの確保、共助交通など生活交通の再構築など
- ⑦ **健康寿命の延伸**
 健康マイレージ事業(注7)、がん検診受診率の向上、とっとり方式認知症予防プログラムの普及など
- ⑧ **感染症に強い地域づくり**
 新型コロナウイルス等の新たな感染症に対応できる医療提供体制の充実、医療機関や社会福祉施設等による感染症拡大防止・予防対策支援、県民への予防・啓発の推進など
- ⑨ **鳥取ならではの防災文化づくり**
 住民や地域が主体的に避難行動を起こす防災文化の定着、市町村と連携した避難体制の整備、鳥取らしい支え愛活動推進など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

注4：自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく。

注5：NPO法人(特定非営利活動法人)

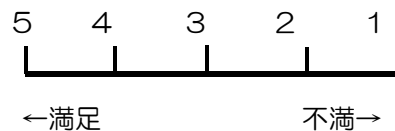
注6：県民が、多様な障がいの特性の理解に努め、障がいのある者に温かく接するとともに、障がいのある者が困っているときに「ちょっとした手助け」を行うことにより共生社会を目指す運動をいう。

注7：指定の健康づくり関連事業(健康診断、健康づくり講演会、スポーツ教室など)に参加した場合にポイントを付与し、一定のポイントがたまったら、景品等のインセンティブを付与する制度。

3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

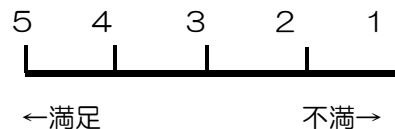
① **移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組**

地元企業と若者の交流促進、県内就職への支援、移住希望者等の都市部人材同士のネットワーク形成、各種メディアによる継続的な情報発信など



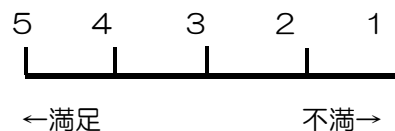
② **関係人口の拡大を進める取組**

企業等と連携した情報発信、ワーケーション(注8)等の推進による都市部在住者の受入促進、農村体験・農泊促進など



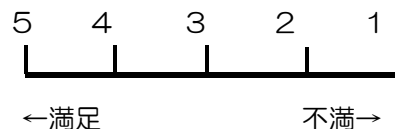
③ **次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大をめざす取組**

先端技術の開発・導入支援、新ビジネスの創出支援、オンラインによる販路拡大の推進、海外需要獲得推進など



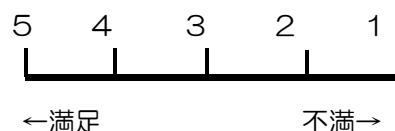
④ **戦略的な産業人材の育成・確保**

学術機関と連携した課題解決型教育推進、職業訓練の充実、様々な媒体を活用した県内企業情報発信、デジタル化など企業課題に応じた人材育成支援など



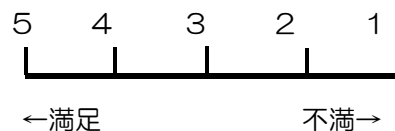
⑤ **自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組**

女性の就業・起業支援、イクボス・ファミボス(注9)の普及、副業・兼業・テレワーク(注10)促進支援、高齢者の就業支援など



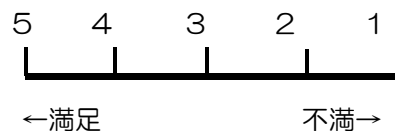
⑥ **暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組**

空き家の利活用、ひきこもり・DV問題に関する啓発、市町村における犯罪被害者支援条例の制定促進、防犯・交通安全対策の推進など



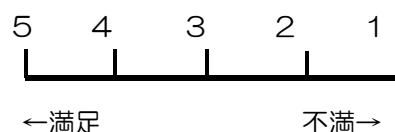
⑦ **アート・文化による地域づくりへの取組**

ICTを活用した文化芸術の場の提供、県立美術館による拠点づくり、まんが・伝統芸能等の文化資源や歴史・文化遺産の活用など



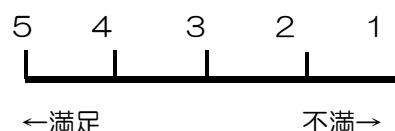
⑧ **強靱な防災基盤の構築に向けた取組**

ハザードマップ(注11)作成等による防災減災対策、原子力防災体制整備、新技術によるインフラ維持・人材の育成など



⑨ **持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組**

超高速情報通信基盤整備の推進、空港・駅の利便性向上・賑わい創出、ICTを活用した自治体業務の効率化など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

注8 : 「ワーク(仕事)」と「ワーケーション(休暇)」から作られた造語。普段働いている職場を離れて、リゾート地などで休暇を取りながら遠隔勤務を行うこと。

注9 : 育児はもちろん、介護しながら働き続けられる職場環境づくりを実践する家族志向のリーダーのこと。

注10 : 情報通信技術を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のこと(在宅勤務、サテライトオフィス勤務等)。

注11 : 防災を目的に、災害に遭う地域を予測し表示した地図。災害危険予測地図。

4 男女共同参画社会づくり

【問7】男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目（設問）についてどう思われますか。

1～8の設問ごとに表中の「選択」の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択				
	そう 思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思 わない	分ら ない
1 現実として家事が女性の役割となっていると思う					
2 現実として子育てが女性の役割となっていると思う					
3 現実として介護が女性の役割となっていると思う					
4 学校教育の場において男女差は無いと思う					
5 就職の機会に男女差は無いと思う					
6 就労環境、待遇に男女差は無いと思う					
7 社会的立場や地位は男女とも平等だと思う					
8 性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う					

【問8】男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。該当する数字に○をしてください。（○は3つまで）

- 1 男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成
- 2 男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発
- 3 ワーク・ライフ・バランス(注1 2)を実現できる労働環境整備への支援
- 4 家族間での家事・育児の分担を見直すような普及啓発（研修会の開催、家事分担手帳の配布等）
- 5 男性が参加しやすい家事・育児・介護の手法研修（講習）会の開催
- 6 家事・育児・介護に積極的に参画している男性の事例、男性の家庭参画によるメリット等の発信
- 7 性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発
- 8 その他（下記に具体的にお書きください）

〔

〕

【問9】男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。

該当する数字に○をしてください。

（○は3つまで）

- 1 固定的性別役割分担意識(注1 3)の解消など男女平等の視点に立った教育や学習機会等の充実
- 2 男女共同参画に関する相談の場の拡充及び周知
- 3 就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援
- 4 保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実
- 5 長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、男女ともに働き方の見直しの啓発
- 6 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
- 7 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 8 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援
- 9 女性に対する暴力を根絶するための取組推進
- 10 その他（下記に具体的にお書きください）

〔

〕

注1 2：ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは、だれもが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のこと。

注1 3：「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」というような性別に基づく固定的な役割分担意識のこと。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

(ソサエティ)

＜「鳥取県情報技術活用推進計画～Society5.0 推進計画～」に基づく取組について＞

【問14】 鳥取県は、最先端の情報通信技術やデータの積極的な利活用を通じて県民が豊かさを実感できる鳥取県版 Society5.0 の実現を目指す「鳥取県情報技術活用推進計画～Society5.0 推進計画～」を令和3年4月に策定し、各分野において様々な取組を推進するとしたところです。

それぞれの取組について、あなたの関心度をお聞きしますので、【評価の基準】を参考に、それぞれ5段階で回答をお願いします（各項目の1～5のいずれかの数字に○をしてください）。

【評価の基準】

5 かなり関心がある 4 少し関心がある 3 普通 2 あまり関心がない 1 全く関心がない

※「鳥取県情報技術活用推進計画」は、県ホームページ（<https://www.pref.tottori.lg.jp/296892.htm>）に掲載しています。

1 農林水産分野

農林水産分野においては、「農林水産物の品質、生産量の向上」、「作業の省力化、コスト削減の推進」、「熟練の技術、ノウハウの伝承」を目指します。

このための取組例（①・②）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関心がある	少し関心がある	普通	あまり関心がない	全く関心がない
① IoTセンサー(注16)等を用いた効率的な情報収集や情報分析によるデータの活用 〔次年度栽培計画へ食味・収量センサーが付いたコンバインの取得データを活用、森林施業プランニングへ航空レーザ計測結果を活用、海の天気予報へ高頻度・広範囲海況データを活用〕					
② 自動操舵システム(注17)、ドローン(注18)等を活用した作業の省力化及びリモコン式自走草刈機、アシストスーツ(注19)等を活用した作業の負荷軽減					

2 産業振興・働き方分野

産業振興・働き方分野においては、「業務効率化や付加価値向上等による県内産業の成長」、「新たな需要を獲得する新たなビジネスモデル創出」、「柔軟な働き方の実現」、「デジタル専門人材の育成」を目指します。

このための取組例（①～⑤）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関心がある	少し関心がある	普通	あまり関心がない	全く関心がない
① 小規模事業者を含む県内企業のデジタル実装の加速化 〔小規模事業者等のデジタル化の取組モデルの創出及び類型化による生産性の向上、経営者向けセミナー・実務者向け講座を通じたAI(注20)・IoT(注21)等の導入による県内企業の実装性の向上〕					
② 最先端技術活用による革新的実装モデルの創出 〔AI、IoT、5G(注22)、ロボティクス(注23)等の先端ICTを活用した実装モデルの創出〕					
③ 専門家の伴走支援によるテレワークの導入促進					
④ 企業、大学、行政等の連携による体系的なDX人材(注24)の育成					
⑤ 「とっとりDXラボ」創設 〔商工団体、産業支援機関等との連携による県内企業の実装性及び人材育成等の推進体制の強化〕					

3 観光・文化振興

観光・文化振興分野においては、「国内外からの観光客の増加、観光地の魅力向上」、「文化・芸術を体験・鑑賞できる新たな環境の実現の育成」を目指します。

このための取組例（①～④）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関 心がある	少し関 心 がある	普通	あまり関 心がない	全く関 心 がない
①ビッグデータ(注 25)等を活用した需要予測など、効率的な観光戦略の立案					
②AR(注 26)、VR(注 27)等を活用した新たなサービスの提供					
③SNS等を用いた多様で魅力ある情報発信の強化					
④動画配信サービス等を活用したイベント等の遠隔での体験・鑑賞の推進					

4 医療・福祉・健康

医療・福祉・健康分野においては、「自宅等からサービスが受けられる環境の実現」、「従事者の負担軽減とサービスの質の維持・向上」、「安心して子育てできる環境の実現」、「健康寿命の延伸」を目指します。

このための取組例（①～⑥）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関 心がある	少し関 心 がある	普通	あまり関 心がない	全く関 心 がない
①オンライン技術を活用した遠隔医療等の環境整備					
②IoTセンサー等を活用した高齢者等の見守りの効率化・省力化					
③オンライン技術を活用した健康教育、アプリやウェアラブル端末(注 28)等を活用した健康系イベントや自己管理の推進					
④アプリ等を活用した子育てに役立つ情報の提供やオンライン相談等の推進					
⑤アプリ等を活用した自宅での認知症予防、フレイル(注 29)対策の推進					
⑥医療・介護従事者の業務日誌・カルテの電子化・共有化の推進					

注16：IoTセンサー：ネットワークに接続して情報を収集・管理するセンサー。

注17：自動操舵システム：ハンドルを自動制御し、設定された経路を自動走行するシステム。

注18：ドローン：小型無人飛行機。

注19：アシストスーツ：人の動作や姿勢を補助する装置。

注20：AI：人工知能。

注21：IoT：様々なものがインターネットにつながる。

注22：5G：第5世代移動通信システム（「超高速」だけでなく「多数接続」や「超低遅延」といった新たな特徴をもつ移動系高速通信規格）。

注23：ロボティクス：ロボット（人の代わりに作業を行う装置）に関する学問や研究。

注24：DX人材：デジタル技術やデータ活用などに精通した人材又はDX（デジタルを利用した変革）の取組を主体的に行う人材のこと。

注25：ビッグデータ：スマートフォン等を通じた位置情報や消費行動等に関する情報や、小型化したセンサー等から得られる膨大なデータ。

注26：AR：実在する風景に特定の情報を重ねて表示する技術。

注27：VR：仮想的な世界をあたかも現実のように体験できる技術。

注28：ウェアラブル端末：腕や頭部などの身体に装着して利用するICT 端末。

注29：フレイル：加齢とともに心身の働きや社会的なつながりが弱くなった状態のこと。

5 暮らし

暮らし分野においては、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境の実現」、「県内への移住・定住の促進」、「多様な関係人口の拡大による地域活性化の実現」、「脱炭素社会の実現」を目指します。

このための取組例（①～⑥）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関 心がある	少し関 心 がある	普通	あまり関 心がない	全く関 心 がない
①コネクテッドカー(注30)を活用した地域出張型の新しい行政サービス（移動行政窓口等）の提供					
②情報通信技術により様々な交通手段を統合し、革新的な移動サービスを提供するMaaS(注31)の推進による県民の利便性の向上					
③SNS等を活用した魅力発信の強化					
④サテライトオフィス(注32)やワーケーション環境の整備					
⑤AI、IoTセンサー、ドローン等を活用した公共インフラの維持管理の効率化					
⑥IoT技術を活用した再生可能エネルギーの地域内における需給（地産地消）の推進					

6 防災・減災

防災・減災分野においては、「大規模災害への備え」、「感染症の大規模な感染拡大への備え」、「自助・共助・公助の連携強化」を目指します。

このための取組例（①～③）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関 心がある	少し関 心 がある	普通	あまり関 心がない	全く関 心 がない
①衛星画像、IoTセンサーやドローン等を活用した自然災害時の迅速な状況把握と対応の強化					
②ICTを活用した災害時の情報収集・共有・発信の連携及び24時間対応の強化					
③避難場所データ、過去雨量データ等のオープンデータ(注33)の利活用による地域の防災・減災力の強化					

7 学校教育

学校教育分野においては、「子どもたち一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた学びの提供の実現」、「子どもたち一人一人の学習・生活状況の把握の深化」、「安心・安全なICT活用に向けた子どもの頃からの教育」を目指します。

このための取組例（①～④）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関 心がある	少し関 心 がある	普通	あまり関 心がない	全く関 心 がない
①1人1台端末による個別最適な学びと協働的な学びが実現できる環境の整備					
②システム等の活用による子どもたち個々人の学習履歴や学習状況の的確な把握					
③研修等を通じた教員のICT活用指導力の向上（学校訪問型研修、学校の最高情報統括責任者研修等）					
④サイバー空間において被害者や加害者にならないための情報モラル教育等の推進					

注30：コネクテッドカー：インターネットへの常時接続機能を備えた自動車。

注31：MaaS：様々な交通手段を情報通信技術の活用により一つの統合されたサービスとしてとらえる概念、またはそのサービスそのもの。

注32：サテライトオフィス：企業又は団体の本拠から離れた場所に設置されたオフィス。

注33：オープンデータ：地方公共団体等が保有するデータのうち、誰もがインターネット等を通じて容易に利用できる形で公開されたデータ。

Ⅳ 回答者の情報

あなたの年代や性別などをお答えください。該当する項目に○印をお願いします。
なお、この情報はアンケート集計以外には利用いたしません。

【問15】年代

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 18～19歳 | 2 | 20～29歳 | 3 | 30～39歳 | 4 | 40～49歳 |
| 5 | 50～59歳 | 6 | 60～69歳 | 7 | 70歳以上 | | |

【問16】性別

- 1 男性 2 女性 3 その他（回答したくない）

【問17】お住まいの住所

- | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|-----|----|------|----|------|
| 1 | 鳥取市 | 2 | 米子市 | 3 | 倉吉市 | 4 | 境港市 | 5 | 岩美町 |
| 6 | 八頭町 | 7 | 若桜町 | 8 | 智頭町 | 9 | 湯梨浜町 | 10 | 三朝町 |
| 11 | 北栄町 | 12 | 琴浦町 | 13 | 南部町 | 14 | 伯耆町 | 15 | 日吉津村 |
| 16 | 大山町 | 17 | 日南町 | 18 | 日野町 | 19 | 江府町 | | |

【問18】職業

- | | | | | | |
|---|------------|---|--------------|---|-----------|
| 1 | 会社員（含 公務員） | 2 | 自営業（含 家族従業者） | 3 | パート・アルバイト |
| 4 | 学生 | 5 | 専業主婦・主夫 | 6 | 無職 |

V 自由記載欄

ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください。

以上で質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました

◆記入もれがないか再度ご確認ください。同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函（切手不要）してください。なお、本調査の結果は11月下旬に「とりネットホームページ」に掲載予定です。

◆既にパソコン・スマートフォンによりインターネット回答をされた方は、この調査票へのご記入や郵便ポストへの投函は不要です。

この調査票を使用されず、インターネット回答をされる方は、裏面の案内をご覧ください。

～パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へ～

インターネット回答のご案内

このページは、パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へのご案内を掲載しています。

調査票にご記入いただき郵便ポストに投函される方は、インターネット回答は不要です。

<インターネット回答の手順>

インターネット回答ページは、鳥取県版電子申請システム(とっとり電子申請サービス)に設けています。
8月19日(木)までに回答していただきますようお願いします。

(1) インターネットで回答される方は、次のいずれかの方法でインターネット回答ページにアクセスしてください。

①直接、次の URL を入力してアクセスする。

https://s-kantan.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=3387

②右のQRコードを読み込んでアクセスする。



(2) 回答ページ(はじめに)の「調査票番号」入力欄に、以下の**6けたの数字**を入力してください。
※重複回答防止のためのもので、これにより個人を特定することはありません。

(3) 設問に沿って回答してください。

(4) 回答が完了したら、「確認へ進む」ボタンをクリックし、内容を確認後に、「申込み」ボタンをクリックしてください。以上で回答の手続きは終了です。

～ご協力いただき誠にありがとうございました～